

令和5年度授業事例：高校英語科

論理・表現Ⅰ（授業のできる英語ディベート）

授業者：細川 めぐみ・熱海 千乃

授業の狙い・単元のゴールなど

評価の方法・評価のポイントなど

単元：be clear (10時間) ・ Logical thinking & Let's Debate
 ・ パーラメンタリーディベート人材育成協会(PDA)のフォーマットに従って実施
 ・ ねらい：英語ディベートを通じて、英語力、論理的思考力、社会的知識背景、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、他の生徒と協同する力を育成する
 ・ 即興型ディベート試合の概要
 ① 2～4人1組のグループを作る
 ② 1テーブル3グループ（肯定・否定・ジャッジ）
 ※毎回役割を交代【GOV→OPP,OPP→Judge, Judge→GOV】
 ③ 論題発表後15分間のプレパレーション
 ④ 肯定→否定→肯定→否定（各3分）→否定まとめ→肯定まとめ（各2分）→ジャッジ

ディベート
 ・ 授業観察
 ・ フローシート
 ・ ジャッジ評価表
 ・ 課題（PMの立論を書いて提出）
 ★積極的にディベートに参加している。（含POI）
 他の生徒から学ぼうとする姿勢がある。
 ★ディベートを聞きながらフローシートを記入することができる。
 ★ディベートを聞いて、ジャッジをすることができる。
 ★与えられた論題に対して立論を書くことができる。

授業の流れ・ワークシートなど

授業の流れ

- 1) 前期中間： 賛否のある意見に対し自分の考えを述べる。
- 2) 前期末：立論の考え方・書き方
- 3) 後期中間：反論・再反論の考え方・やり方
- 4) 後期末まで： Summary & Refute
- 5) P D A 即興型英語ディベート
 (①～③はクラスごと、④以降はクラス対抗)
 ① Day 1:即興型英語ディベートのルール確認
 ② Day 2: 英語研究部によるモデルディベートの見学
 Living in the urban areas is better than living in rural areas.
 ③ Day 3: We should ban school uniforms.
 ④ Day 4: Cram Schools should be banned.
 ⑤ Day 5: It is better to study in the U.S. during high school days than after entering university in Japan.
 ⑥ Day 6: Volunteer work in schools should be mandatory.
 ⑦ Day 7: THBT studying is more important than club activities for students.
 ⑧ Day 8: The use of online games by children should be restricted.
 ⑨ Day 9: Elderly people should be required to return their driver's licenses.
 ⑩ Day 10: A decline in population gives us benefit than harm.

授業の様子



授業の様子を振り返って・生徒の感想

★自分では考えつかなかった意見が話し合いのなかで出てきたのがディベートをするなかで大きかった。また、ハキハキと話すこと、難しすぎる英語を使わないで書くことを意識してディベートできた。大変なところもあったがチームで協力して楽しくできた。
 ★思っていたよりも複雑で大変そうだという印象があったが、やってみると頭をフルに回転してやっているので大変だがやりがいがあり、上手く言えなかった時はとても悔しくて、練習しようと思った。ディベートで英語だけでなく表情や声の抑揚、ジェスチャーなど様々な表現ができて、他の人からの学びも沢山あってとても楽しかった。
 ★最初は全然喋れなくてやる気も起きなかったけど、回数を重ねるうちに「前より話せるようになった」「反論できるようになった」と成長を感じ少しディベートを楽しく感じる事が出来た。
 ★広い視点を持って客観的に考えるというのが難しかったです。英語での語彙力や論理的思考力を身につけていきたいです。

